

2024年1月31日

お取引先様各位

拝啓 大寒の候、皆様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。また平素より ONE サービスをご利用いただき感謝申し上げます。

現在コンテナ海運と国際サプライチェーンは新たな試練に直面しております。紅海・アデン湾海域を航行する船舶への武装組織による攻撃により、当社を含む多くのコンテナ船社が、同海域の航行を見合わせざるを得ない状況となりました。特に、アジア／欧州航路、(スエズ運河経由の)アジア／北米東岸航路では、多くのサービスが喜望峰ルートへの回避を余儀なくされ、そのため輸送日数の増加のみならずウィークリーサービス維持やコンテナの供給などに影響が及びつつあります。また、パナマ運河でも干ばつの長期化を背景に、昨年末来通航に支障をきたすケースが激増し、本格的な状況の改善にはなお時間を要する見通しです。

しかしながらこれらの、いわばコロナ禍に続く新たな危機に直面する中においても、当社が果たすべき役割に変わりはありません。喜望峰ルートへの変更などで、スケジュールはもとよりサービス体制維持への懸念が生じてもなお、さまざまな手段・工夫を駆使して「安定したスケジュールのもと、お客様の貨物を安全且つ確実にお届けする」という使命を果たすべく、安定的なサービスの提供に努めてまいります。

一方、当社のサービスネットワークと船隊の強化は着々と進んでおります。昨年末までに竣工した最新鋭の2万4000TEU型船全6隻に加え、今年に投入を予定する7000TEU型船10隻、さらに来年からは1万3000TEU型新造船の投入も始まります。

また、先日発表した1万3000TEU型船12隻はメタノール燃料対応の二元燃料機関搭載を発注段階で決めており、これら次世代燃料対応型船舶も2027年から順次引き渡しを受ける予定です。アンモニア燃料の使用やゼロエミッション船の技術開発研究も並行して行うなど、より安定かつ環境に優しい輸送をお客様に提供してまいります。

ONEの取り組みの詳細につきましては、添付資料をご覧ください。こちらを進捗状況につきましては都度ご案内させて頂く予定です。

敬具

オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン株式会社
代表取締役社長 中井 拓志[ONE Initiatives 日本語版](#)[ONE Initiatives 英語版](#)